

地域づくりネットワーク埼玉県協議会会員情報

団体名	認定・埼玉県指定特定非営利活動法人メイあさかセンター	
DATE	代表者	尾池富美子
	事務局及び情報誌等送付先	351-0031 朝霞市本町2-7-17
	構成員	会員個人95人・法人5法人・特別会員1法人
	活動日	全日
	活動場所	事務所及ミニデイサービス 公共施設 マレーシア各地
	情報誌	メイあさかセンターNews 年間3~4回 発行 音楽療法月例会案内
設立のきっかけ	代表理事が、個人で活動していたことを賛同者が任意団体を組織して確実な運営をし、2001年に法人格を取得し、2006年から認定、2014年から埼玉県指定NPO法人に。	
活動の内容	① <small>小さな集い</small> 認知症本人の行き場や介護者の相談場所がなかった時期に自宅開放からはじまり、公民館へさらに一軒家を借りて集いの場を始め、行政の体制が整った時に委ね、介護予防活動にシフトし音楽療法を取り入れた月例会と手芸やパソコンレッスンなどのミニデイサービスを2か所運営。② <small>療育音楽を楽しむ会</small> 知的障がい児・者と高齢者・成人の音楽でリハビリと仲間作り。③ <small>絵を通じての友好</small> マレーシアと日本の学校教育と連携し、児童画をツールとしたグローバル教育支援で30年続いている、交換交流・一般公開展覧会・セミナー&ワークショップ・人物交流他。④ <small>介護の日フェスタ！！</small> 11月11日行政との協働を実行委員会を組織し、世代間交流しながら“介護予防”普及活動。	
エピソード	本年は設立30周年につき、周年記念事業で初トライ「絵を通じての友好国際フォーラムin ASAKA」を実施予定。マレーシアからもパネリストを招へいし、中央大学森茂教授の指導のもと1月に実施。	
今後の計画目標	次世代につなぎ方を工夫する。	
年間行事	① <small>小さな集い</small>	月例会とミニデイサービスを関連のあるものとして、社会参加のツールとして取り組む。ミニデイサービスは出来るだけ“お人のため”も考ての時間を楽しむ様心がけます。
	② <small>療育音楽を楽しむ会</small>	知的障がい児者のいっそうの運営参画をめざします。
	③ <small>絵を通じての友好</small>	年間2回で2,000点の作品を提供していただき、マレーシアへ3回渡し、手から手へを心がけた交換会、セミナーやワークショップを予1月に国内で30周年記念。日馬児童・生徒絵画展実施。
	④ <small>みんな集合！音楽で一日楽しく遊ぼう！</small>	ホールでの取り組みも2年目となり、ギニアとつながるジャンベグループ（東京）も応援でかけつけて、プロのミュージシャンもボランティアで参加予定。
	⑤ <small>介護の日フェスタ</small>	行政との協働で実行委員会形式で、11月11日介護予防普及フェスタ
これまでの歴史	①1988年～2011年「手を貸す運動」西アフリカシエラレオネ国女子中学生教育里親運動 ②在宅介護を考える会 1989～1995年介護保険が施行されてから中止 ③子どものキャンパス「虹」 1994年～2011年文科省で国際理解教育をスタートし、学校教育で緒についたことを機に終了 ④ <small>小さな集い</small> 1988年～現在 ⑤「絵を通じての友好」を進める中で、ニーズに応える型で、ミニディサービスやマレーシア人のホームステイや国際フォーラムなどにも発展している ⑥ <small>療育音楽を楽しむ会</small> 2004年～現在 ⑦2012年 法人としても中間支援業務を担える体験の積み重ねと人材を確保することで2012年より定款に中間支援を網羅して活動している。 ⑧NGOとしても、かかわるマレーシアの急発展で、どんどん活動内容が変容している。現在は日本としても多文化共生社会の生活を学ぶ良いパートナーとなっている。	
団体PR	“朝霞から世界へ世界から朝霞へ生涯学習でいきいき”を標榜している通り、多様な活動を連携させて、運営の中核は高齢者ながら多くの支援者のお力を結集して地味ながら息の長い着実な活動を続けています。	